

◆◇ 本号の目次 ◇◆

A. 素形材センター事業トピックス【☆●●●】

- A-1. 素形材経営セミナー「素形材分野のデジタル技術活用による企業変革と価値創出
その課題と処方箋 DX 推進に向けての経営者の役割」のご案内
- A-2. 素形材技術セミナー「鋳造欠陥における『新なぜなぜ分析手法』と
実際の現場での活用事例の演習」のご案内
- A-3. 素形材技術研修講座「鋳鉄の鋳造方案技術」締切迫る！！
- A-4. 素形材技術研修講座「軽合金鋳物の生産技術」のご案内
- A-5. 月刊誌「素形材」2025 年 1 月号特集掲載原稿募集のご案内
～ 特集タイトル、募集内容をリニューアル！～

B. 素形材センター出版物情報【●☆●●】

- B-1. 月刊誌「素形材」令和 6 年 9 月号 (Vol. 65, No. 9)

C. 素形材業界関連－募集・トピックス－【●●☆●】

- C-1. オンライン教育講座「構造材料(2) 非鉄材料編」 New★
【公益社団法人日本金属学会】
- C-2. 第 97 回塑性加工技術フォーラム「部材軽量化技術の最先端」 New★
【一般社団法人日本塑性加工学会】【一般社団法人日本鍛圧機械工業会】
- C-3. 2024 年度 第 3 回熱処理技術セミナー「熱処理基礎講座 II」のご案内 New★
【一般社団法人日本熱処理技術協会】
- C-4. 金属学会セミナー(特別講座) 相平衡と相変化の計算科学：凝固現象編
【公益社団法人日本金属学会】
- C-5. 第 186 回塑性加工学講座<Web 開催>
「板材成形の基礎と応用 ～応用編～」 【一般社団法人日本塑性加工学会】
- C-6. 第 440 回講習会
「レーザ加工技術の現在(いま)－ 実用技術から最新研究まで －」
【公益社団法人精密工学会】【公益財団法人精密測定技術振興財団】
- C-7. オンライン教育講座「マルチスケール材料科学」 【公益社団法人日本金属学会】
- C-8. 第 19 回エレクトロヒートシンポジウム<Web 開催>
「電気のチカラで GX に貢献 めざせ！世界をリードする脱炭素技術」
【一般社団法人日本エレクトロヒートセンター】
- C-9. 第 184 回全国講演大会開催のご案内 【公益社団法人日本鋳造工学会】
- C-10. 第 264 回塑性加工技術セミナー
「自動車メーカーにおける板金プレスシミュレーションの活用事例と将来展望」
【一般社団法人日本塑性加工学会】
- C-11. 2024 年度 第 2 回熱処理技術セミナーのご案内
－熱処理応用講座－ (テーマ：窒素活用による表面改質技術の最前線)
【一般社団法人日本熱処理技術協会】
- C-12. 「中小企業海外ビジネス人材育成塾」のご案内
【独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ)】
- C-13. 2024 年度粉末冶金講座のご案内 【一般社団法人粉体粉末冶金協会】

11月20日(水)

球状黒鉛鑄鉄の中・小物鑄造方案 (有)張技術事務所 張 博 氏
特殊鑄造法の特徴と方案 栗熊技術事務所 栗熊 勉 氏

11月22日(金)

工場見学 (株)木村鑄造所 御前崎製作所

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。

<https://www.sokezai.or.jp/files/libs/2126/202408281621088420.pdf>

■センターの技術研修のスケジュールは、こちらをご覧ください。

<https://www.sokezai.or.jp/pages/27/>

【問合せ先】

一般財団法人 素形材センター 企画部 e-mail:kensyu@sokezai.or.jp

oo

A-4. 素形材技術研修講座「軽合金鑄物の生産技術」

アルミニウム合金の鑄造技術としては、砂型鑄造、重力金型鑄造、低圧鑄造、ダイカストなど種々の鑄造法が適用されています。本講座では、ダイカスト以外の鑄造技術を取り上げます。これらのアルミニウム合金鑄物は、試作品から量産品まで、いろいろな製品として鑄造されていますが、複雑形状鑄物や高強度・高延性などの高性能鑄物として用いられるものも多く、溶湯品質の向上、鑄造欠陥の解決、熱処理などの技術をうまく適用していく必要があります。経験豊富な講師陣が、鑄造の基礎理論から実際の現場で役に立つ製造技術の細部にわたって説明します。質疑応答の時間も十分に取り、受講する方の理解を深める講座とされています。多数の方々のご参加をお待ちいたしております。

■日時 12月5日(木)、13日(金)、19日(木)

■プログラム コーディネーター (公社)日本鑄造工学会 神戸 洋史 氏

12月5日(木) オンライン研修講座

鑄造用アルミニウム合金の特性と動向

日軽エムシーアルミ(株) 堀川 宏 氏

溶解および溶湯処理

日軽エムシーアルミ(株) 堀川 宏 氏

各種砂型鑄造法と適用事例

森田技術士事務所 森田茂隆 氏

12月13日(金) オンライン研修講座

金型鑄造法と適用事例

森田技術士事務所 森田茂隆 氏

鑄造合金の凝固・鑄造性

日軽エムシーアルミ(株) 北岡山治 氏

アルミニウム合金の熱処理、塑性加工による品質向上

日軽エムシーアルミ(株) 北岡山治 氏

12月19日(木) 対面研修講座、工場見学

鑄物製造の工法選択と品質管理

日産自動車(株) 林 憲司 氏

工場見学 (株)田島軽金属

■詳しい内容やお申込みは、こちらをご覧ください。

〇〇〇

C-3. 2024年度 第3回熱処理技術セミナー「熱処理基礎講座 II」のご案内 New★
【一般社団法人日本熱処理技術協会】

第3回熱処理技術セミナーでは、浸炭・窒化・高周波といった代表的な表面硬化熱処理技術を中心に、これらの熱処理とは不可分な金属学的現象への解説を加えて、熱処理技術を中心に据えた基礎講座プログラムで構成されています。本セミナーは、企業における人材育成に最適なプログラムになっております。貴社の社員教育等にご活用いただければ幸甚に存じます。多数の参加をお待ちしております。

- ◆日 時 : 2024年12月2日(月), 3日(火)
- ◆会 場 : 製粉会館5F 第2・3会議室およびオンライン (Zoom Webinar)
- ◆定 員 : 対面30名
- ◆締 切 : 2024年11月21日(木)

■詳細・申込方法 : 下記 URL をご覧下さい。
詳細 <https://jsht.or.jp/wp-content/uploads/2024/06/2351c9b08bdef2eda75c7f4e2f491f9.pdf>
申込 <https://forms.office.com/r/dEHGcuL7mF>

〇〇〇

C-4. 金属学会セミナー(特別講座) 相平衡と相変化の計算科学 : 凝固現象編
【公益社団法人日本金属学会】

実用材料における微視組織の形成過程を理解するためには、平衡状態図と凝固現象に関する基礎的知見と熱力学の基本原則に対する理論的知見が必要です。本セミナーでは、熱力学の基本原則について詳細に説明し、同基本原則に基づく CALPHAD 法等による状態図計算と凝固現象のシミュレーションについてわかりやすく解説します。

本セミナーが、凝固現象を事例とする相平衡と相変化の計算科学に対する理解を深めるための一助となれば幸いです。

- ◆期 日 : 2024年11月7日(木), 8日(金)
- ◆開催方式 : 対面とオンライン (Zoom) のハイブリッド形式
- ◆対面会場 : エッサム神田ホール1号館 6階 中会議室1 (601)
- ◆定 員 : 対面50名。オンライン100名
- ◆申込締切 : 2024年10月30日(水)

■詳細・申込方法 : 下記 URL をご覧下さい。
https://jimm.jp/event/seminar/contents/semi_030.html

〇〇〇

C-5. 第186回塑性加工学講座<Web開催>
「板材成形の基礎と応用 ~応用編~」 【一般社団法人日本塑性加工学会】

高品質の板材プレス製品を高効率で生産するためには、板材のプレス成形に関する基礎理論からその応用技術に至るまでの広範囲の知識が必要になります。また近年、プレス成形のシミュレーション技術はますます進化しています。そこで板材成形の実業務に従事し、その適用事例や CAE 解析事例を学びたい方を対象に、板材成形の現状と今後の課題など、幅広く

く講義を実施します。本講座は「塑性加工学講座 板材成形の基礎と応用～基礎編～」の続編に位置付けられ、基礎編受講者には、より理解し易い構成になっていますが、基礎編を受講していなくても十分にご理解頂ける内容となっています。

- ◆日 時：2024年11月14日（木）、15日（金）
- ◆会 場：Web 開催 最新情報を学会ホームページでお知らせ
- ◆定 員：50名
- ◆締 切：2024年11月7日 17時

- 申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。
<https://www2.jstp.jp/event/event.php?mode=detail&id=1437>

oo

C-6. 第440回講習会
「レーザー加工技術の現在(いま)－ 实用技術から最新研究まで－」
【公益社団法人精密工学会】【公益財団法人精密測定技術振興財団】

初めて“LASER”というシステムが提案されて65年が経過し、現代の機械加工分野におけるレーザーは、金属の切断や溶接に留まらず表面加工や微細加工、積層造形など広範囲で使用されています。近年では加工精度や品質への要求の高まりもあり、レーザー加工技術の発展には目覚ましいものがあります。その波長も赤外からX線領域まで幅広いレーザーが開発され、加工対象も金属板からダイヤモンドまで広範囲にわたります。本講習会では、レーザー加工技術の中でも切断や改質などの加工技術と微細加工技術に焦点を当て、最先端の研究をされている研究者や最新技術を用いた機械を開発している企業より講師をお招きし、レーザー加工の实用技術から最新技術までご講演していただきます。レーザー加工技術の最先端についての知見を高めていただける情報が満載です。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆日 時：2024年11月18日(月)
- ◆開催形式：対面およびライブ配信のハイブリッド形式
- ◆対面会場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー15階 1153教室
- ◆定 員：対面60名、ライブ配信100名
- ◆締 切：2024年11月11日(月)

- 申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。
<https://www.jspe.or.jp/custom-event/event-11421/>

oo

C-7. オンライン教育講座「マルチスケール材料科学」 【公益社団法人日本金属学会】

材料の諸現象は電子、原子の振る舞いに端を発し、内部組織の形成を経て、強度や機能の発現に至るマルチスケール現象である。従って諸現象の素過程は電子・原子のスケールにあるが、これを単純に集積するだけではマクロな現象を理解することはできない。素過程が集まり、事象や現象を発現するときには、素過程の中で支配的なものが選択され、又、素過程の足し算以上のプラスαが現れる。cross-scaleあるいはtrans-scaleに伴う選択則やプラスαの正体を明らかにし系統化することがマルチスケール材料科学の課題である。本講義ではこのようなことを念頭において、ミクロからマクロに至る種々の素過程の原理を復習し、材料科学/材料工学特有のマルチスケール性を学ぶ。

本講座では、当日に受講できない方や理解を深めたい受講者の方のために、開催後に講義のオンデマンド配信を行います。受講申し込み者は追加料金なしに視聴できます。

- ◆期 日：2024年10月28日（月）、29日（火）
- ◆会 場：オンライン（Zoom）
- ◆申込締切：2024年10月21日（月）

■申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。

https://jim.jp/event/online/2024/group_003.html

oo

C-8. 第 19 回エレクトロヒートシンポジウム〈Web 開催〉

「電気のチカラで GX に貢献 めざせ！世界をリードする脱炭素技術」

【一般社団法人日本エレクトロヒートセンター】

本年度も11月に「第19回エレクトロヒートシンポジウム」を開催いたします。開催方法については、昨年度に引き続き、WEB開催とすることといたしました。WEB開催はシンポジウム期間中、日本国内のみならず海外の方からも、いつでも、何度でもご視聴いただけるなどリアル開催にはない効果もあり、昨年初めて5,000名を超過しました。

本年においても、講演、技術発表のオンデマンド配信、および、ご出展各位による技術、製品、サービス等のPRシート「バーチャル展示」をシンポジウム特設サイトに掲載し当シンポジウムを開催いたします。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

- ◆開催期間：2024年11月1日（金）～30日（土）

■詳細については下記 URL をご覧下さい。

<https://jeh-center.org/19thEHSympo.html>

oo

C-9. 第 184 回全国講演大会開催のご案内

【公益社団法人日本鋳造工学会】

10月25日（金）から28日（月）までの間、富山国際会議場（富山市）を主会場に、オンライン配信とのハイブリッド形式で、研究発表講演会ならびに下記の行事を開催いたします。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

- ◆期 間：令和6年10月25日（金）～28日（月）
- ◆会 場：富山国際会議場

■詳 細：下記 URL をご覧下さい。

<https://jfs.or.jp/gyouji/184taiaki/>

oo

C-10. 第 264 回塑性加工技術セミナー

「自動車メーカーにおける板金プレスシミュレーションの活用事例と将来展望」

【一般社団法人日本塑性加工学会】

板金プレスシミュレーションは、多種多様な商用ソフトウェアが提供され、自動車メーカ

一から中小部品金型メーカーまで幅広く活用されており、材料モデルなどの技術開発に対する塑性加工研究者の貢献も大きく、日本のモノづくりの土台となっている。そこで本セミナーでは、自動車業界のトップメーカーの板金プレスシミュレーション担当者より現在までの各社特徴的な活用事例等をご紹介頂き、将来に向けて求められる技術課題等をお話頂き、今後の研究開発の指針としたい。

- ◆日 時：2024 年 11 月 1 日 (金) 13:15~17:00
- ◆会 場：大同大学 S 棟 S302 教室
- ◆定 員：100 名
- ◆締 切：2024 年 10 月 24 日 17 時

■申込方法・詳細：下記 URL をご覧下さい。

<https://www2.jstp.jp/event/event.php?mode=detail&id=1442>

oo

C-11. 2024 年度 第 2 回熱処理技術セミナーのご案内

—熱処理応用講座— (テーマ：窒素活用による表面改質技術の最前線)

【一般社団法人日本熱処理技術協会】

第 2 回熱処理技術セミナーでは窒素を活用した表面改質技術について取り上げました。窒素を活用した表面改質は、金属材料の表面にさまざまな機能を付与する処理として広く活用されています。さらに、新しい技術の開発も継続しており、進歩が著しい熱処理技術のひとつです。本講座では、窒素を活用した表面改質技術について、第一線で技術開発に取り組んでいる講師をお招きしてご講演いただきます。

このセミナーは、社員教育をはじめとした企業における人材育成に最適なプログラムとなっておりますので、貴社の社員教育などにご活用いただければ幸いです。多数のご参加をお待ちしております。

- ◆日 時：2024 年 10 月 24 日 (木), 25 日 (金)
- ◆会 場：製粉会館 5F 第 2・3 会議室およびオンライン
- ◆定 員：対面 30 名 / オンライン 上限なし
- ◆締 切：2024 年 10 月 20 日 (日)

■詳細・申込方法：下記 URL をご覧下さい。

詳細 <https://jsht.or.jp/wp-content/uploads/2024/04/d79f98f2c25e308cedb1e432f4848c32.pdf>

申込 <https://forms.office.com/r/Ne9eSNAYMW>

oo

C-12. 「中小企業海外ビジネス人材育成塾」のご案内

【独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ)】

本講座は、初めて海外バイヤーとの輸出商談に臨む方や、商談準備に課題を感じている方に向けた無料研修です。

講義やワークショップ、個別指導を通じて、海外展開戦略の策定方法、プレゼン資料の作成方法、商談のノウハウを習得します。

10 月以降の募集スケジュールは以下のとおりです。

11 月期 : 10 月 11 日(金)11:00 ~ 10 月 22 日(火)正午 12:00
2 月期 : 2025 年 1 月 6 日(月)11:00 ~ 1 月 20 日(月)正午 12:00

皆様のご応募お待ちしております。

【お問い合わせ先】

ジェトロ海外ビジネス人材育成課

Tel : 03-3582-8355 E-mail : ikusei@jetro.go.jp

■詳細・申込については下記 URL をご覧下さい。

<https://www.jetro.go.jp/services/ikusei/ikuseijuku.html>

oo

C-13. 2024 年度粉末冶金講座のご案内 【一般社団法人粉体粉末冶金協会】

粉末冶金の入門から基礎そして実用に亘り勉強していただく「粉末冶金講座」を開催しています。

本講座は当日急遽受講できなかつた方や復習をしたい方のため、受講申込者に対し開催翌週にオンデマンド動画を配信します。

対象者は、粉末冶金に新しく携わる方、改めて基礎を勉強したい方を初め、営業担当者、事務関係者、さらに、粉末冶金経験者は勿論、各種の素形材に携わる研究者、技術者までの幅広い皆様としています。粉末冶金の原点に触れ、理解を深めていただくとともに、最新の技術情報を得ていただきたいと存じます。

企業における社員教育、大学での学生の教育の一環として、また、次代の粉末冶金技術者研究者の育成のために、是非本講座をご利用ください。多くの方のご参加をお待ちしております。

- ◆日 時 : 粉末冶金基礎講座 : 2024 年 12 月 2 日(月)
粉末冶金実用講座 : 2024 年 12 月 3 日(火)
- ◆会 場 : 対面(京都経済センター)ならびにオンライン(Microsoft Teams ウェビナー)
- ◆申込締切 : 粉末冶金基礎講座, 粉末冶金実用講座共に 2024 年 11 月 11 日(月)

■詳細、申込方法 : 下記 URL をご覧下さい。

<https://www.jspm.or.jp/event/20240405>

※※

D. 素形材産業政策関連トピックス・募集等 — 【●●●☆】

oo

D-1. 統計 【経産省】New★

- 経済産業省生産動態統計確報 (8 月分)
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result/ichiran/08_seidou.html
- 経済産業省生産動態統計時系列表 (6 1 ヶ月)
https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/result/ichiran/08_seidou.html#menu2
- 製造工業生産能力・稼働率指数 (8 月分)
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>
- 石油統計確報 (8 月分)

<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sekiyuso/result.html>

〇〇〇

D-2. 「デジタルインフラ（DC等）整備に関する有識者会合 中間とりまとめ 3.0」
の公表について 【経産省】New★

経済産業省及び総務省は、重要性が高まっているデジタルインフラの整備に当たり、レジリエンス強化、エネルギー・通信の確保といった立地に係る要件を検討するとともに、経済安全保障の観点から担い手となる企業の健全な育成を図るため、「デジタルインフラ（DC等）整備に関する有識者会合」を開催しています。
10月4日、本会合の議論を踏まえた「デジタルインフラ（DC等）整備に関する有識者会合 中間とりまとめ 3.0」を公表します。

■詳細は以下をご覧ください
<https://www.meti.go.jp/press/2024/10/20241004004/20241004004.html>

〇〇〇

D-3. 第6回カーボンリサイクル産学官国際会議を開催しました 【経産省】New★

経済産業省及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は、10月11日（金曜日）、第6回カーボンリサイクル産学官国際会議2024を開催しました。当省からは竹内経済産業大臣政務官が出席し、直近の取組や日本企業の優れた取組み等を紹介し、カーボンニュートラルに向けたカーボンリサイクルの重要性について発信しました。
また、CO₂を資源として活用するカーボンリサイクルについて、各国の産学官による講演・パネルディスカッションを通じ、(1)カーボンニュートラルに向けたカーボンリサイクルの役割、(2)市場の国際展開と投資促進、(3)技術開発の3つのテーマについて議論を行い、更なる発展のために取り組むべき課題について確認するとともに、講演・パネルディスカッションのメッセージを取りまとめた総括文書を公表しました。さらに、次世代のカーボンリサイクルを担う学生と専門家との交流会や企業・団体等によるポスター展示を通じて、日本のカーボンリサイクルの技術を紹介しました。

■詳細は以下をご覧ください
<https://www.meti.go.jp/press/2024/10/20241011002/20241011002.html>

〇〇〇

D-4. 第11回 Innovation for Cool Earth Forum (ICEF) 年次総会を開催しました 【経産省】New★

10月9日（水曜日）及び10日（木曜日）、経済産業省及び新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）は、第11回 Innovation for Cool Earth Forum (ICEF) 年次総会をハイブリッド開催しました。“How to Live within the Planetary Boundaries through Green Innovation”をメインテーマに、地球温暖化問題解決の鍵となるグリーン・イノベーションについて議論を行いました。93の国・地域から約1,700人にご参加いただきました。

■詳細は以下をご覧ください
<https://www.meti.go.jp/press/2024/10/20241011003/20241011003.html>

